



日本のおじいさん、ありがとう

『やっと飛行機に乗れました。
大雨の日にパスポートを失くした私と一緒に警察局へ行って、一緒に中国総領事館へ行って、臨時パスポートをもらって、そして私に水やおにぎりを買ってくださった空港ボランティアの日本のおじいさんに感謝。私が落ち込まないように一緒にお酒を飲んでくれた偶然出会った台湾のお友達に感謝。
空港まで送ってくれた中国人留学生に感謝。
いろいろな方に助けて頂いて感謝、感謝。
日本のおじいさん、私は必ずまた日本に戻って会いに来ます。』(原文は中国語)

—中国人旅行者—

以上は愛知華僑総会のウィチャット・ネットワークによせられた通信内容です。8月13日、或る若い中国人旅行者がパスポートを失くしてしまい困っていたところ助けて下さったのが、私たち日中文化協会の元会員で、セントレアでボランティアしてみえる森岡昌法さんでした。中国旅行者の保証人になって、ホテルや航空チケットの手配なども一生懸命助けて下さったおかげでその旅行者は翌日無事中国へ帰ることが出来たとのことでした。中国の若い旅行者は発信したショートメールの最後に「おじいさん、私は必ずまた日本に戻って会いに来ます。」と記しています。その時、森

岡さんはパスポートを失くした中国人の若者を助けた
いどうしたものかと困っていましたが、空港で偶然
愛知華僑総会の任さんに会い、その関係で華僑総会の
賀来さん達がパスポート再発行の為に尽力して下さい
ました。たくさんの人々のやさしさに感動しました。
素晴らしいことだと思います。森岡さん、ありがとう
ございました。

若い中国人は国に帰ったらきっと周りの親戚や友達
に日本人から親切にしてもらった話をします。これは
まさしく民間の友好を深める出来事だと思います。政
治的な思惑とは全く違った次元の、自然な事です。

9月16日、中日新聞の発言欄にある82歳の方が
「終戦直後の中国人の親切」をテーマに記した文章が
載っていました。

『終戦で旧満州から日本に帰国しました。引き揚げ
の途中でつらいこともありましたが、多くの中国人は
たいてい親切にしてくれました。私たちに宿を提供し、
食べ物を与えてくれたこともありました。日中両国に
は難しい政治問題もありますが、両国民はもっと草の
根レベルでの友好的な交流を深めるべきで、それが平
和の礎になると私は考えています。日本と中国は一衣
帯水なのでから』

大変良い発言でした。

唐 啓山

月例会報告

9月4日の例会は、台風のため中止となりました。

在日外国人向け高校進学コースの設置

6月の記事にも載せさせていただきましたが、文化協会として高等学校を卒業することなく日本に家族滞在という在留資格で居住している在日外国人に向けての日本語教育及び高校進学の学歴教育をしたいと長年考えておりました。

この度、6月の総会において、皆様のご賛同をいただきましたので、6

月以降、コースに対する理解や意義などの説明を日本に在住する中国の方々に行ってまいりました。その結果、今年の10月より、当館5階にて、高校進学コースを設置する運びとなりました。

新しい取り組みですし、私自身も大変社会的意義のある活動であると考えておりますので、慎重に大切に

育てていきたいと考えております。中国の学生をメインに8名からスタートする予定です。また、例会にて詳しく説明させていただきますので、是非、会員の皆様のご協力も賜ればと存じます。よろしくお願ひします。

上山 伸治

きゅうりとピーマンの炒め物

材料 (2人分)

きゅうり	2本
ピーマン	4個
パクチー	1束
ポン酢	大さじ2
ごま油	大さじ1

1. きゅうりを千切り、ピーマンを細切りにし、パクチーはざく切りにします。

2. フライパンにごま油をひき、1の材料に軽く火を通します。
3. ポン酢を加え、全体に馴染んだら完成です。



どこでも買えるような材料で作る、中国家庭料理のレシピです。最近パクチーの入手も容易なので、我が家では常備品となっています。本来であれば中国の酢を使うのですが、代用品としてはポン酢が良いそうです。お好みに合わせて唐辛子や豆板醤で辛味を加えると、甘酸っぱさが引き締まります。

成語故事コーナー

dōngshī xiàopín

东施效顰 (ひそみに倣う)

春秋時代、越に西施という美しい女性が居ました。西施には持病があり、発作が起きると胸を押さえて眉間に皺を寄せ、苦しそうにゆっくり歩いていました。西施はとても美しくかったため、そうやって苦しそうに歩く姿でも人の目を惹きつけてしまうのでした。

同じ村に東施という娘が居ました。東施は美しくなかったのです

日本の漢字に置きかえると「東施倣顰」でしょうか。東施が顔をしかめるのを真似する、という故事そのままの言葉です。何も考えずに表面

が、西施のように美しくなりたいと常々思っていました。東施はいつも西施をうらやみ、西施の言葉や仕草を一生懸命真似していました。

ある日、東施は西施が胸を押さえ、眉間に皺を寄せて、ゆっくり歩いているところを目撃しました。東施はその姿を美しいと思い、自分も胸を押さえて眉間に皺を寄せ、ゆっくり歩いてみることにしました。

だけ真似をすること表し、良い意味ではありません。

ここで登場する西施は、日本人には馴染みが薄いのですが、中国では

しかし、残念ながら東施のそうした姿は、人々にはとても醜く恐ろしいものに見えてしまったのです。そして、ある人は東施の姿を見ると家の扉を閉め、ある人は子供を連れて逃げるようになってしまいました。



知らない人が居ないくらい、歴史における代表的な美女だそうです。

漢方教室 93 麹と生酵素のパワー

【麹とは?】

麹菌は東洋にのみ存在する有用微生物です。日本独特の気候風土により自然発生した世界でも類を見ないこの微生物は、デンプンをブドウ糖に、タンパク質をアミノ酸に分解する性質が強く、しかも効果的に脂肪を分解吸収するので、東洋微生物の王様とも呼ばれてきました。

麹そのものを食することはありませんが、古くから清酒、味噌、醤油、鰹節などの発酵製造に利用され、日本人の食生活には欠かすことのできない存在です。

【酵素とは?】

酵素は体内の栄養素の分解、運搬、合成、排出を行う上で、とても大切な働きをしています。ビタミン、ミネラル、タンパク質など、必要な栄養がきちんと補給されていても、この栄養を分解して、必要なエネルギーに代えていくための酵素が不足していると、代謝機能がうまく働きません。



日本安恵の『麹生酵素』は、麹菌で発酵させた7種類の穀米に紅麹を加え、相乗効果により実感をアップしたサプリメントです。初回限定 1袋(120粒) 2,980円 ご興味のある方は、052-242-3930 まで。



中国からの引き揚げ—思い出すがままに⑩

釜山を出港し、船は対馬を目指して進みました。外海は、白波がたち、荒れていました。10m ぐらいのアップダウンを繰り返しながら進みます。乗船者の多くが船酔いに悩まされました。

私は、これまで日本へ帰ったことが一度だけあります。4、5歳の時親戚の葬儀で岐阜県の中津川へ帰った記憶がかすかに残っています。その時は、安東（現在の丹東）を列車で出発して、国境を流れる鴨緑江を渡り、ピョンヤン（平壤）、ソウル（京城）、プサン（釜山）まで来ました。ここからは下関と釜山を結ぶ関釜連絡船に乗り、下関へ上陸しました。安東を出発して岐阜県の中津川まで2～3日の行程だったように思います。今なら飛行機を使えば、1日で来られるのではないのでしょうか。

さて、船酔いに苦しみながら対馬の厳原までたどり着きました。船酔いの苦しさは、経験したことがある人は分かると思いますが、胃の中のを全部吐き出してしまっても、嘔吐感は繰り返し襲ってきます。そうすると今度は胃液が出てきますが、こんな苦しいことは、2度と経験したくありません。小さい船に乗るときは、今でも恐怖感に襲われます。

プサンを出港し、対馬の厳原の港に入った時は、正直ホッとしました。船上から日本の島・対馬の人々の動き、緑の木々などを眺めながら、多くの引揚げ者は、感慨に浸っていました。

杉本 克治

9月誕生日の人の言葉

9月誕生日の人の言葉はお休みです。

eスポーツ！

eスポーツは、ゲーム上で行われる人間対人間の対戦競技の総称です。ゲームを指してスポーツと称するのも不思議な感じですが、9月20日から開催されている東京ゲームショー2018でも、eスポーツは存在感を示しています。

日本ではまだ十分に認知されているとは言えませんが、現実にはプロゲーマーやプロチームが存在し、インターネットで彼らのプレイを観戦するゲームファンも増え続けています。私自身もeスポーツ競技のゲームをプレイしているゲームファンの一人なので、今後の発展をととても楽しみにしています。

耕

「世界の瓷都・景德鎮生活を総括して」⑤

～景德鎮陶瓷（とうじ）大学教授として、8年半にも亘る駐在生活から感じたことは～

更に原料と製品・作品の輸送手段が確立されていること。景德鎮のカオリンは昌河の上流から下流にて水運利用により、容易に原料運搬が可能であった。日本の陶磁器産地にも同様に、水運利用で栄えた産地がある。制作された品物は陸路で江西省最大の淡水湖「ポーヤン湖・翻陽湖」へ、そこから水運で長江を経て首都・北京に行きわたる。この水運利用の移送手段が確立されていた。現代と違って、陸路輸送は陶磁器の場合は大変困難が生じる。

元来、この世界の成り立ちとして、民窯から官窯に移行するのが一般的な過程である。景德鎮も陶瓷大学（旧校舎）の近くにある、昌河源流の南河近くに湖田窯という箇所の民窯から発展していく。民窯の近くの山からの薪燃料がなくなり、また時の政府の力で工人が集まる現在の景德鎮中心部（珠山地区）に移動して、宋・明・清代に世界有数の官窯が隆盛をみる。各時代別に大量に焼造された優品が国内や国外まで行き渡

ることで、「世界の瓷都・景德鎮」が広く認知されていく事となる。先の大戦以降、暫くは復興に時間が有するが、現在の景德鎮市の人口168万人、その内、陶磁器関係従事者は人口の20%強と聞く。生粋の景德鎮人だけではとてもこの「世界の瓷都」大偉業の成立はなく、近隣省からの出稼ぎ労働者の貢献は見逃すことはできない。古代からの周辺の安徽省・福建省・広東省から流入する労働者確保は、現在も嘗々と継続されている。日本人で陶磁器関係者ではなくとも、「景德鎮」という名称が広く知れ渡った存在である事は評価しなくてはならない。

景德鎮陶瓷大学元教授
二十歩（にじゅうぶ）文雄

お知らせ

★10月例会

日時：10月2日（火）18：00～

講師：ウンドス氏（馬頭琴演奏者）

★JCCA 中国語サロン

日時：10月6日（土）20日（土）14：30～

★日本語広場

10月の日本語広場はお休みです

★11月例会

日時：11月6日（火）18：00～

講師：新發田豊氏（日中共同建設桜友誼林保存協会会長）

★桜友誼林あゆみ展

日時：11月5日（月）～7日（水）

★12月例会

日時：12月4日（火）18：00～

12月の月例会は恒例の忘望年会です。

上山学院日本語学校からのお知らせ

○スピーチ大会

9月20日、留学生によるスピーチ大会が開催されました。今回の日中文化協会賞はウズベキスタンの2名に決まりました。

一人目のヌリッディンさんのスピーチのテーマは「アニメの影響」で、昔の平和的なアニメに比べ、現代のアニメはヒーローが敵との戦いで暴力的に打ち負かすシーンが含まれており、子どもへの影響が気になる、という内容でした。

二人目のナウルーズさんのテーマは「外国語が話せる利点」で、外国で何を聞かれても「はい」としか言えなかったもどかしさや、今のクラスは多国籍なクラスメートで編成されているけれども外国語である日本語を、皆が話すことで理解しあえる素晴らしさを述べていました。

選考にご協力いただきました会員の皆様にはありがとうございました。

○入学式

10月17日（水）10時から、上山学院10月期入学式を行います。今学期も約40人の新入生を迎えることになりました。

中国、インドネシア、ネパールなど、これまで受け入れていた国以外にも、今回はロシアやタイからの留学生が入学します。

日中文化協会の会員さんも、是非、入学式にご参加ください。

10月例会

・日時：10月2日（火）

18：00～ 中国語で話そう会

18：50～ 馬頭琴演奏

演奏者：ウンドス氏

19：45～ 茶菓での交流会

・会場：中統奨学館ビル4階

9月例会は台風の影響で中止となってしまいましたが、ウンドス氏に10月例会をお願いすることができました。ご期待ください！

江蘇杯 中国語スピーチコンテスト

日時：2018年12月15日（土）

高等学校の部 9：20 開始予定

大学の部 13：00 開始予定

場所：愛知大学 名古屋キャンパス

応募締切：2018年10月26日（金）

愛知大学、南京大学、江蘇国際文化交流センターが主催する、中国語によるスピーチコンテストです。高等学校の部と大学の部があり、大学の部では、南京大学への留学や奨学金といった素敵な懸賞があります。

募集要項等の詳細に関しては、インターネットにて「愛知大学 江蘇杯」で検索してください。または、愛知大学国際交流課国際教育推進係（TEL：052-564-6116）までお問合せください。

編集局

編集局では現在、携帯電話番号、生年月日、E-Mailアドレスのご登録を推奨しています。イベントのご案内、「誕生日の人の言葉」の掲載、WEBサイト更新の通知などに使用致します。china@chuto.co.jp 宛にご送付ください。ニューズレターは、WEBサイトにてカラー版を公開しています。郵送不要の方は「郵送不要」とご連絡ください。



〒460-0008 名古屋市中区栄4-16-29 中統奨学館

TEL：052-262-1410 FAX：052-262-5036

一般社団法人日中文化協会

編集長 上山耕治